



背中



3学期の始業式の後、各教室の様子を見て回っていると多くの教室で、学年集会が行われていました。

6年生は教室で先生のお話を真剣に聞いていました。子どもたちの背中が実に美しく、教室はピンと張りつめた空気とやる気に満ちあふれていました。

この背中を全校児童にも見てほしいと思い、写真に収め拡大印刷して、校内数か所に掲示しました。

「聞く」から「聴く」を目指してほしいというメッセージも添えました。「聴」は、「耳」と「目」と「心」を十分に使った姿勢を表します。この写真をじっと見つめている子がたくさんいました。

下級生はこの背中に憧れ、この背中を目指して日々活躍してほしいと願っています。

言葉の使い方

先日の深いイイ話では「かしこく生きるための言葉の使い方」について話しました。

ある雑誌に、脳外科医の先生が「言葉の使い方」で脳はより活性化することを書かれていましたので、その一部を小学生用に編集して紹介しました。

「無理!」とか、「あの人のせいだ!」、「ぼくは運が悪い」というマイナスな言葉ばかり使っていると、周りの人はその人と話をするのが嫌になります。逆に、「やってみよう!」、「がんばって!」というようなプラスの言葉を使っている人は、相手との気持ちの良い会話が続きます。気持ちの良い会話、あたたかいコミュニケーションができる人の脳は、ものすごく活発に働くのです。

そして、話の最後に私の好きな言葉「おかげさまで」を紹介しました。この言葉の中には、「かげ」がかかれています。「かげ（陰）」には、目に見えない場所という意味があります。私たちが毎日、楽しく学校に来られるのも、実は目に見えない「かげ」で支えてくれている人がたくさんいます。朝早くから通学路の見守りをしてくれている地域の方、給食の野菜を一生懸命育ててくれた農家の方、そして、皆さんのために食事の用意や洗濯などをしてくれているお家の方・・・。

こうした「目には見えない優しさ」に気づいたとき、「おかげさまで」という言葉が使えるようになります。この言葉が使えると心が「ふわっと」温かくなるということを話しました。

子どもたちの心にはどのように響いたのか、校長賞に選ばれた児童の作文を紹介します。

私は今までは「勉強ができない」とずっと心の中で思っていました。

でも、校長先生の話聞いて、自分はいつも自分のことを「マイナスの言葉」でごまかしていたことが分かりました。「おかげ」で自分はいつもいやな気持ちでいたと分かりました。

これからは、「おかげさまで」という言葉をマイナスな言葉を言いそうになったら思い出してがんばりたいです。

これまでの自分の生き方について振り返り、自分を見つめ直す時間になっています。これからの生き方について書き綴ることは、行動につながります。「勉強って面白いな」と思えることが増えるよう、我々ががんばらねばと強く感じております。

裏面あります

毎週末、深いイイ話を何にしようかと悩んでいます。本や雑誌、新聞を読み漁り、時にはテレビ番組からヒントを得たりしながら何とか書き上げていますが、子どもたちの作文を読むと報われた気持ちになります。今年度もあとわずかですが、少しでも子どもたちの励みになったり、生き方のヒントになったりする話ができればと思っています。

昔遊びに興味津々



今年も、1年生が昔遊びに熱中しました！

1月22日、西苔田・東苔田老人クラブの皆様にお越しいただき、たくさん遊びを教えてくださいました。子どもたちは、グループに分かれ、こま回し、けん玉、あやとり、お手玉、おはじき、めんこなどに挑戦しました。

こまが回るたびに歓声が上がリ、めんこが裏返しそうになると拍手が起こりました。「楽しかった！」「もっとやりたい！」という声が溢れていました。子どもたちは、おじいちゃんやおばあちゃんに褒められたり、励まされたりするなかで、ちょっとずつ上達していきます。すると、また褒めてもらえるという正のスパイラルが生まれていました。昔遊びは、自分と向き合い、人と豊かに関わることができますね。老人クラブの皆様、大変お世話になりました。ありがとうございました。



読み聞かせ&ペア学習

朝学習の時間を活用して、図書委員会の子どもたちが1年生、2年生に絵本の読み聞かせを行っています。これが、すごくいいのです！図書委員会の子どもたちの絵本を選ぶセンスも素晴らしいですし、何より読み方が上手です！低学年の子どもたちが、集中して聞き入っています。この様子を見ていて、改めて絵本の素晴らしさを感じています。

絵本にはたくさんの言葉が散りばめられています。生活に欠かせない言葉、ちょっと難しいけど心に残る言葉など、作者のメッセージともいえる「素敵なお言葉」や「生き方のヒントになる言葉」などが絵とセットになっています。絵とセットになっているから、知らない言葉が出てきても自然と理解できるようになります。語彙が増える優れた教材です。ご家庭でも機会を見つけて、絵本に親しんでいただければ幸いです。



3学期から、定期的に1年生と6年生がペアとなり、計算や漢字の学習を行っています。6年生は先生役となり、1年生に計算の仕方を教えたり、発展問題を出したりしています。1年生は、6年生のお兄さんお姉さんにたくさん褒めてもらいながら、どんどん問題を解いていました。今後もこのような活動を続けていく予定です。

また5年生と2年生のペア学年でも「けてふれ」のやり方を5年生が2年生に教える予定です。

◆2月～3月の主な行事予定や授業短縮等の情報は、弥生小学校HPでご確認ください。

【弥生小HPは右QRコードから】

弥生小ホームページの「学校日記」は、ほぼ毎日更新し、日々の様子をお伝えしています。閲覧数も伸びており、皆様にお読みいただいていることを嬉しく思っています。ありがとうございます！HP担当の古山先生、教頭先生がとても喜んでおります(o^ー^o)(^▽^)/

